

# れきしみち

2025.7  
No.137

P2特集  
終戦80周年記念  
特別展

## 空襲に備えよ

総力戦下の家庭防空



- P4... 特別展「日本妖怪展」
- P6... 連載「城址公園 万葉花ごよみ その七 フジバカマー」
- P7... 展覧会関連イベント／夏の催し物案内
- P8... ナイトミュージアム／市民ギャラリーよりお知らせ

上:防空防火一致協力のしおり(立命館大学国際平和ミュージアム蔵) / 左:消火弾(本館蔵) / 中・右:防毒面(本館蔵)



れきしみち No.137 令和7年7月発行 編集・発行 安城市歴史博物館

(指定管理者:安祥文化のさと地域運営共同体)

安城市歴史博物館 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀 30番地 TEL 0566-77-6655

## 夜の博物館に行こう！ 「ナイトミュージアム」

8月29日(金)～8月31日(日)

8月29日(金)～8月31日(日)の3日間は安城市歴史博物館、安城市民ギャラリー、安城市埋蔵文化財センターを夜8時30分(入館は夜8時)まで開館します！(※通常は夕方5時まで) 期間中は様々なイベント、アート企画、博物館ナイトツアーをおこないます。ぜひ夜の博物館にお越しください！

**さとのマルシェ**  
8/29(金)、30(土)、31(日)  
16:00～20:30  
飲食のキッチンカーや  
雑貨やクラフトの店舗が出店。  
【会場】安祥城址公園

**灯籠のつくり**  
8/30(土) 日没～20:30 ※雨天時内容変更あり  
8/31(日) 会場 東尾八幡社、安祥城址公園 一角  
主催:東尾灯籠と竹あかりの会

**「空襲に備えよ」夜間展示解説**  
特別展「空襲に備えよ」の展示を学芸員が解説します。解説後に戦時中の資料にさわれるコーナーも用意します。

特別展 終戦80周年記念 **空襲に備えよ**  
— 総力戦下の家庭防空 —

【開催日】8月29日(金) 19:00～  
【会場】歴史博物館 企画展示室  
【定員】15名(先着順)  
【参加費】展示観覧料500円(中学生以下無料)  
【申込み】当日18:50～受付

毎年人気のドキドキ・わくわく **博物館ナイトツアー**  
夜の常設展示をめぐります。昼間とは違ったドキドキ感をお楽しみください。

【開催日】8月30日(土)、8月31日(日)  
①18:00～ ②18:30～  
③19:00～ ④19:30～

【会場】歴史博物館2F 常設展示室  
【定員】各10名(先着順)  
【参加費】1人200円(ミニ灯籠のお土産付き)  
【対象】3才以上(小学生以下保護者同伴)  
【申込み】8月9日(土)9:00～電話受付

**L'eclat チアダンス**  
L'eclatによるチアダンスステージをお楽しみください。

【開催日】8月29日(金) 18:00～19:00  
【会場】安祥城址公園 ※雨天中止  
【出演】L'eclat

**安城民謡で盆踊り**  
「安城音頭」・「安城七夕音頭」などの安城民謡が生演奏で披露されます。

【開催日】8月30日(土) 18:30～19:30  
【会場】安祥城址公園 ※雨天中止  
【出演】竹友会

**和太鼓演奏&盆踊り**  
安祥公民館で活躍する2チームが演奏。迫力あるステージをお楽しみください。

【開催日】8月31日(日) 18:30～19:30  
【会場】安祥城址公園 ※雨天中止  
【出演】①安祥太鼓②三州輪っ鼓  
19:45～20:15 盆おどりタイム(協力:三州輪っ鼓、安祥太鼓)

**マーブリングでうちわ作り**  
マーブリングの技法を使ってオリジナルうちわを作ります。

【開催日】8月29日(金)  
①17:30～ ②18:15～  
③19:00～ ④19:45～

【会場】市民ギャラリー 創作実習室  
【定員】各7組(先着順)  
【参加費】1個200円(1組2個まで)  
【対象】3才以上(小学生以下保護者同伴)  
※汚れてもよい服装でお越しください。  
【申込み】当日17:00～整理券配布

**謎とき マイブクエストー鹿乗王とまほうの壺ー**  
考古学なぞとき。弥生時代にカノリのムラを治めた偉大な王の壺を見つけ出そう！

【開催日】8月29日(金)・30日(土) 18:00～19:30受付  
【会場】安祥城址公園ほか  
【参加費】1キット/150円  
【難易度】小学校3年生以上  
【申込み】当日受付

**土器ドキ晩ゴハン**  
火きり杵と臼で火おこしし、復元弥生土器でご飯を炊きあげます。豚汁も配布します。

【開催日】8月31日(日) 17:30～19:30  
【会場】歴史博物館前ピロティ  
【定員】家族かグループ12組(1組5名まで/抽選)  
【参加費】1人200円  
【申込み】8/14(木)まで 申込フォームよりお申し込みください

※定員数・開催方法や日時・内容等を変更する場合がありますので、最新情報はHPにてご確認ください。 **お問合せ／お申込み 安城市歴史博物館 TEL:0566-77-6655** **申し込みはコチラ**

安城市民ギャラリーよりお知らせ

市民ギャラリー企画展  
**つちやあゆみ展 木と音のワンダーランド**

【会期】令和7年7月19日(土)～8月31日(日)  
【時間】7月19日(土)～8月28日(木) 9:00～17:00(入館/16:30まで)  
8月29日(金)～8月31日(日) 9:00～20:30 ※開館延長(入館/20:00まで)

【会場】市民ギャラリー展示室D・E  
【主催】安祥文化のさと地域運営共同体  
【後援】安城市教育委員会  
【観覧料】一般500円 ※中学生以下無料

**安祥文化のさと**  
「安祥文化のさと」とは安城市にある松平氏四代50年の居城跡を整備した安祥城址公園一帯の名称です

【全館共通事項】  
住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀 30番地  
休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始(12/28-1/4)

安城市歴史博物館 開館時間 / 9:00～17:00  
TEL:0566-77-6655 FAX:0566-77-6600

安城市民ギャラリー 開館時間 / 9:00～17:00  
TEL:0566-77-6853 FAX:0566-77-4491

安城市埋蔵文化財センター 開館時間 / 9:00～17:00  
TEL:0566-77-4477 FAX:0566-77-6600

安祥公民館 開館時間 / 9:00～21:00  
TEL:0566-77-5070 FAX:0566-77-6062

公式HP、SNSもご覧ください  
安城市歴史博物館    
URL / <https://ansyobunka.jp/>

# 空襲に備えよ

総力戦下の家庭防空



令和7年 7.19(土)  
~8.31(日)

【休館日】  
毎週月曜日  
※7月21日、8月11日は開館

【開館時間】  
9:00~17:00  
(入館は16:30まで)

【観覧料】  
500円 ※中学生以下無料  
※団体(20名様以上:400円)

上:防空防火一致協力のしおり(立命館大学国際平和ミュージアム蔵)  
左:消火弾(本館蔵) / 中・右:防毒面(本館蔵)

今年二〇二五年は、アジア太平洋戦争が終結した昭和二十年(一九四五)から八〇年の節目の年です。この戦争を経験した人は少なくなり、多くの日本人にとっては歴史上の出来事です。一方で、この戦争において日本がアメリカ軍の度重なる空襲により甚大な被害を受けたことを知る人は少なくありません。市域は大規模な空襲を受けることはありませんでしたが、昭和二十年七月二十日の岡崎空襲の際に市内上条町や安城町、小川町にも焼夷爆弾が投下され家屋が焼失しました。また、市内には、北に岡崎航空基地(尾崎町)、南に明治航空基地(東端・根崎・和泉町)があり、基地の周囲もたびたび機銃掃射を受けました。市域の人々も空襲警報が鳴ると防空壕に隠れ恐怖に震えていたという証言が伝わっています。結果的に大きな被害がなかった地域でも、防空訓練などを行い、日常的に空襲に備えていました。本展覧会では、空襲とその備えとしての家庭防空に焦点を当てました。ここでは、その一部を紹介いたします。



写真2 防空訓練の様子(写真本館蔵)



写真3 液体消火弾(本館蔵)  
※資料は戦後の製品

中にモンペ姿の女性達がバケツリレーによる初期消火の練習をしています。バケツを使った消火活動は重要視され、バケツの持ち方や振り方に工夫を凝らし、数メートル先の火元に水を届かせる方法が考案されました。空襲の際、一般市民は避難よりも火災が広がらないように直ちに消火にあたるのが求められました。初期消火の道具のひとつに「消火弾」があります。写真3は、密封されたガラス瓶の中に消火に有効な化学物質を溶かした液体が入ったものです。これを火の上方に投げると、

## 防空訓練

防空に必要な知識は、雑誌や本の他、展覧会や訓練等の催しを通じて一般市民に浸透していきました。

写真1は、神戸で開催された「家庭大防空展」の回覧チラシです。「年」の記載がありませんが、裏面に「四月十八日空襲を受けた結果」とあるので、これは日本が初めて本格的な本土空襲を受けた昭和十七年(一九四二)四月十八日の東京・名古屋・神戸などへの空襲を指すと考えられ、同年に開催された展覧会と推測されます。裏面の展覧会の内容には、警報の伝達、防火用具の配置、防毒・救護の実演等があります。また、軍部の兵器も展示されたようです。

写真2は安城駅の南側周辺で昭和十五年に行われた防空訓練の写真です。防空頭

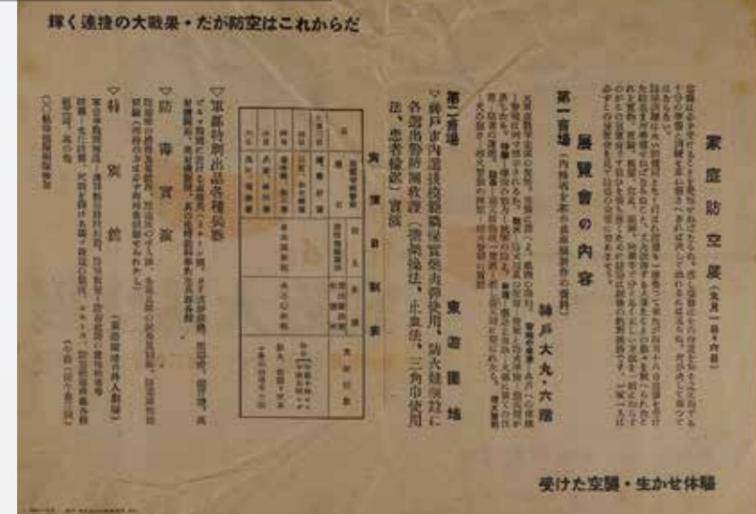


写真1 「家庭大防空展」回覧板(立命館大学国際平和ミュージアム蔵)

同量の水よりも消火能力が高いそうです。写真4は、素焼きの容器の中に砂を入れるタイプの消火弾です。側面に「戦は長期だ」「敵機に備へよ」と書かれています。焼き物以外に紙袋に砂を入れるタイプもありました。これを火元に投げること、酸素の供給を遮断し消火しようとするものです。写真3の液体消火弾は、直径が7cmで女性でも片手で扱えることができそうですが、写真4の防火砂弾は、横幅が14cmあり、砂が入った状態で片手で握れる大きさではありません。



写真4 消火砂弾(立命館大学国際平和ミュージアム蔵)

## 防空壕

また、日常的な備えの一つとして、防空壕が挙げられます。市内でも遺跡の発掘調査の過程で防空壕が見つかることがあります。写真5は、寒池遺跡(桜井町)で見つかった地下式防空壕です。当時は待避所と称していました。大きさは2.8×1.3m、深さ80cmで、階段が設けられています。この防空壕は、各家庭で用意できる最も簡易なもので、空き地あるいは床下を掘って作られました(図1)。屋外の場合は、雨戸や



写真5 防空壕跡(寒池遺跡/市内桜井町)

りませんが、水はけは悪いため雨が降り夏場には湿気が多く、砂利や床板を敷くなど対策が必要です。



図1 床下防空壕イメージ

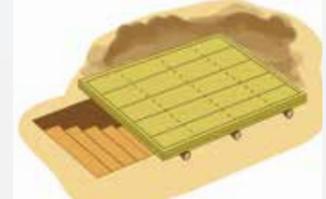


図2 屋外の防空壕イメージ

この防空壕は調査後に埋め戻しましたので現地へ行っても見ることはできませんが、展示室内で大きさを体感できるようにしますので、是非ご観覧ください。

(文責:後藤麻里絵)



# 特別展 日本妖怪展

令和7年  
9.13(主)~11.3(月祝)

【休館日】  
毎週月曜日  
※9月15日、10月13日、11月3日は開館  
【開館時間】  
9:00~17:00 (入館は16:30まで)  
【観覧料】  
700円  
※中学生以下無料  
※団体(20名様以上:560円)



を主題とした絵巻が制作されました。

## 極彩色の妖怪たち―妖怪錦絵―

妖怪文化の広がり大きく貢献したのは江戸時代における木版印刷による出版文化の発展でした。これにより、妖怪を題材とした妖怪本や錦絵が出版され、妖怪は人々の身近なものになっていきました。源頼光の鬼退治など古くからの妖怪の伝説を描いたもの、様々な種類の妖怪を一枚にまとめた「尽くし絵」や双六といったおもちゃ絵など、多種多様な妖怪錦絵が刷られ、世に広まってきました。明治七年(一八七四)頃からは、新聞に掲載された記事を元に事件の一場面を描く「錦絵新聞」など新しいジャンルの作品が作られるようになります。月岡芳年や落合芳幾などが活躍しました。錦絵



月岡芳年  
「新形三十六怪撰源頼光土蜘蛛ヲ切ル図」  
明治25年(1892)(本館蔵)

## 広がる妖怪絵巻の世界

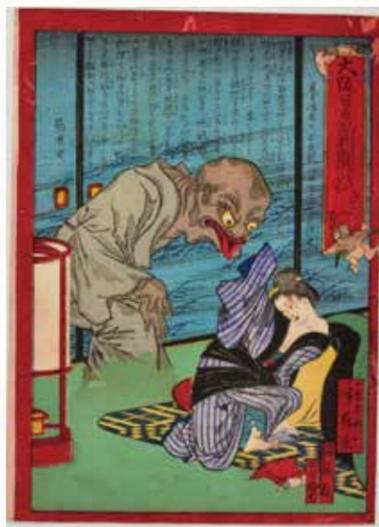
妖怪が描かれた絵巻の中で記念碑的な存在となるのが室町時代に成立した百鬼夜行絵巻です。百鬼夜行とは平安時代や室町時代の説話集や絵巻に登場する、妖怪が夜間に列をなして歩くことを指します。絵巻では、闇夜を跳梁跋扈する妖怪たちの姿、巻末に火の玉または朝日から逃げる妖怪たちが描かれているのが特徴です。

江戸時代以降は、百鬼夜行絵巻だけでなく、ストーリーが展開するもの、二つ二つの妖怪を紹介する妖怪図鑑的なもの、いくつもの短い怪異譚を文字と絵で紹介したものなど、多くの妖怪



「百鬼夜行絵巻」江戸時代  
巻末の場面は一般的には朝日または火の玉ですが、この作品は、炎に包まれた鳥のような妖怪「ふらり火」となっていることが特徴です。

新聞の題材は三面記事的なものが多く、妖怪や怪異の話題も少なからず取り上げられました。



長谷川貞信(二代)  
「大阪日々新聞紙第十三号」

## 不思議な生き物―幻獣―

江戸時代の人々は妖怪だけでなく、不思議な生き物の存在を信じていました。河童や人魚などに代表される不思議な生き物「幻獣」は各地でさまざまな伝説となり、ある時は恐れられ、ある時は信仰の対象になりました。幻獣の中でも河童と人魚は目撃談が多く、江戸時代以降には錦絵や版本の題材となるだけでなく、それらのミイラとされるものも残されています。幻獣のミイラとされるものは寺社に奉納されたり、昭和初期まで見世物興行で見世物として使用されました。



河童図 江戸時代以降

## 物の怪大集合―妖怪本の世界―

大河ドラマでも注目されている江戸中期、江戸の大衆に人気を博したものが絵入りの草



越中国怪獣「クタヘ」江戸時代

いう区分があります。一般的には半人半牛の姿をした妖怪「件」が知られていますが、近年「アマビコ」など様々な予言獣に関する資料が見つかっています。予言の内容はほとんどが豊凶と疫病の発生をセツトにしたものでしたが、どちらか片方のこともありました。予言獣は姿を描いて拝んだり、門口に貼ることで悪病除けになるとされました。



稲亭物怪録 明治3年(1870)

## 生活の中にひそむ妖怪

江戸時代以降、おもちゃなどの遊び道具や身に着けるものに妖怪が登場してきます。これこそ日本人が非常に得意とするキャラクター化であり、畏怖する存在である妖怪がデザインとなり、グッズや生活用品に使用されることによって、妖怪文化はさらに広がっていきました。戦時中には妖怪は太平洋戦争のプロパガンダにも利用されました。また、戦後から現在に至るまで漫画やアニメのキャラクターとしても幅広い年代に親しまれています。

今回の展示では、絵巻、錦絵、妖怪本だけでなく、妖怪をモチーフにした資料から、妖怪の姿や妖怪文化の広がりを紹介していきます。ぜひお楽しみください。



於百図刺子半纏

※所蔵先を記載していないものは湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)蔵

# 空襲に備えよ

## — 総力戦下の家庭防空 —

### 記念講演会

#### 総力戦下の銃後と防空体制

[日時] 8月30日(土)14:00~  
 [講師] 長志珠絵氏  
 (神戸大学教授)  
 [定員] 60名



申込期間 7月1日(火)~7月31日(木)  
 往復はがきでの申込は、7月31日(木)必着

あいち電子申請システム・往復はがきにて受付(抽選)

※往復はがきの場合は、イベント名、氏名、郵便番号、住所、電話番号を明記し、往復はがきにて安城市歴史博物館まで郵送。  
 ※はがき1枚につき、1名申込となります。

### 歴博講座

#### 遺跡からみた安城の防空

[日時] 8月2日(土)14:00~  
 [講師] 後藤麻里絵(本館学芸員)  
 [定員] 60名(当日先着順)

当日受付

### 関連イベント

#### 映像発表 高校生が語り継ぐ戦争体験 ~明治航空基地と子どもたち~

[日時] 7月26日(土) 11:00~11:45 [制作] 安城学園高校放送部  
 [定員] 20名(事前申込み先着順) 申込 7月6日(日)9:00~電話受付

#### 回り灯籠を作ろう!

[日時] 8月3日(日)・8月11日(月・祝)・8月17日(日) [参加費] 2,000円  
 各日①10:00~12:00 ②13:30~15:30  
 [定員] 各4名(事前申込み先着順) 申込 7月13日(日)9:00~電話受付



#### 大人にも聞いてほしい 絵本の読み聞かせ

[日時] 8月9日(土)  
 ①14:00~ ②15:00~  
 [読み手] おはなしどんどん  
 [絵本] 『字のないはがき』向田邦子/原作 ほか



#### 新美南吉 作品から知る戦争中のくらしと人々

[日時] 8月10日(日)  
 ①14:00~ ②15:00~  
 [出演] 南吉朗読でむし会  
 [演目] 『ひろったらっば』ほか

[開催期間] 7月19日(土)~8月31日(日)

#### 平和へのメッセージをこめた 折り鶴を折ろう!

「平和の木」に折り鶴を飾ります。  
 木いっぱい折り鶴の花を咲かせてみませんか?



#### クイズ! みんなの町を守る大作戦!

[時間] 9:00~15:30 [参加費] 1キット:200円  
 ※別途観覧料必要(中学生以下無料)

#### 戦争を知る絵本のひととき

戦争をテーマにした絵本コーナーで絵本を読んでみませんか?

## 夏休みイベント

### 夏休み自由研究相談会

歴史関係の自由研究について、  
 題材や調べ方をアドバイスします。  
 親子での参加も歓迎。



[日時] 7月25日(金)、7月26日(土)、7月27日(日)  
 10:00~15:00 ※相談時間は30分まで  
 [会場] 歴史博物館 体験学習室  
 [対象] 小学3年生から中学3年生まで  
 [申込] 7月5日(土)9:00~電話受付  
 希望日時、調べたいテーマをお知らせください。  
 ※相談会の枠が空いている場合、当日受付も可

### オリジナル風鈴づくり

陶製の風鈴に好きな絵を描いて、  
 オリジナルの風鈴を作ります。

[日時] 8月2日(土)①10:00~②13:00~  
 [会場] 歴史博物館 体験学習室  
 [定員] 各15名(事前申込み先着順)  
 [参加費] 600円/1個(材料費)  
 [対象] どなたでも(小学校低学年以下は保護者同伴)  
 [申込] 7月12日(土)9:00~電話受付



### 歴史を楽しく学べるカードゲーム「Hi!story(ハイスト)」体験会&自由対戦会

「Hi!story(ハイスト)」体験会を開催。  
 カードゲームで歴史を楽しく学ぼう!

[日時] 8月24日(日) ①10:00~11:15  
 ②13:00~14:15 ③15:00~16:15  
 [会場] 歴史博物館 講座室  
 [参加費] 300円(オリジナルカードセット付)  
 [定員] 各25名(事前申込み先着順)  
 [協力] 株式会社Highsto  
 [申込] 8月7日(木)9:00~申込フォームにて



©株式会社Highsto

申込フォーム



### 本格的な紙甲冑を作って「さとまつり」に参加しよう!

ボール紙で本格的な甲冑を作ってみませんか?

[日時] ①8月16日(土) ②8月23日(土)  
 ③9月6日(土) ④9月20日(土)  
 ⑤9月27日(土) ⑥10月4日(土)  
 ※各回ともに13:00~16:00  
 [会場] 歴史博物館 体験学習室  
 [定員] 初級10名/上級2名  
 (事前申込み先着順)  
 ※上級コースは昨年度の受講者の方限定になります  
 [参加費] 初級5,000円/上級8,000円(材料費)  
 [対象] 小学3年生以上(小学生は保護者同伴)  
 [申込] 7月26日(土)9:00~電話受付



秋の七草の一つに藤袴(ふじばかま)があります。秋の七草とは、萩・薄・葛・撫子・女郎花・桔梗・藤袴のことです。八月から九月に花を咲かせる藤袴は曆の上では秋の花になります。万葉集に藤袴が一首のみ詠われていることから中国原産ではないかとの説もあります。後に平安時代の「古今和歌集」では二四〇首も詠まれるほど、身近な花になっていきました。乾燥させた藤袴は桜餅のような芳香を放つため、平安時代の女性は着物に香として焚きこめたとされています。また糖尿病予防や皮膚病などの生薬としても知られています。現在でも園芸種の藤袴は庭木として親しまれていますが、野生種は絶滅の恐れがあるとされています。



# 万葉花ごよみ

その七一フジバカマ

城址公園



万葉集で藤袴が詠まれたのは、秋の七草の起源といわれる山上憶良の歌です。

秋の野に咲きたる花を指折り  
 かき数ふれば七種の花

萩の花尾花葛花なでしこの花  
 女郎花また藤袴朝貌の花

(山上憶良)  
 (山上憶良)

最初の歌は、秋の野に咲いている花を指折り数える七種あるという意味です。二首目は、その七種の花を詠ったものでした。尾花は薄のこと、朝貌は桔梗のこととされています。七種とは、旧暦の秋の行事である七夕に供えるものという意味もあります。この歌は七夕に関連したものではないかという説もあります。春の七草は芹・薺・御形・繁縷・仏の座・菘・蘿蔔のことをいいます。薺はへんぺん草、御形は母子草、繁縷はニワトリ草、菘は蕪、蘿蔔は大根といわれ、現在でも一月七日に胃腸を整える七草粥として知られています。秋の七草は春の七草と比べて、その美しい花をたたえる観賞用とされていますが、春の七草と同じく薬効がある草花ともいわれています。

には、東宮(後の聖武天皇)の侍講として学問を講義する役を務めました。晩年には自身の病について書いた「沈痾自哀文」の中に病気の症状や古代中国の医者名をあげるなど、医学の知識があったことが知られています。憶良が万葉集に詠った秋の七草は、単に秋の美しい花を選んでいただけではなく、健康長寿に効能のある草花を七夕の供物として選んだとも考えられます。葛は今でも葛根湯として、桔梗は喉の痛みに効く生薬とされます。藤袴は唐では香草として匂袋や薬浴に珍重されました。憶良が万葉集の中で誰も詠まない藤袴を選んだ背景の一つには、唐に渡り藤袴についての薬効を学んだ事があるからかもしれません。



安祥城址公園に咲く万葉集ゆかりの花や植物たちを紹介していきます。